

- (ア) 下地面の清掃を行う。
- (イ) JASS 18 M-201に基づく塗料を全面に塗り付ける。
 なお、仕上塗材の製造所の仕様により、下塗材を JASS 18 M-201 に基づく塗料で代用することができる。

日本ペイント 下地調整材一覧 (JIS A 6916他)

C-1	1材フィラー#200
C-2	1材カチオンフィラー
CM-2	—
E	アンダーフィラーS又はアンダーフィラーAL
合成樹脂エマルジョンシーラー (JIS K 5663)	水性透明シーラー、水性ホワイトシーラー、 水性カチオンシーラー (透明・ホワイト)、 水性シミ止めシーラーⅡ
JASS 18 M-201	ファイン浸透シーラー (透明・ホワイト)、 浸透性シーラー (新)、 ファイン浸透造膜シーラー、 ファインパーフェクトシーラー (透明・ホワイト)

15.6.6 工法

- (1) 外装薄塗材Si及び可とう形外装薄塗材Siは、次による。
 - (ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。
 - (イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。
 - (ウ) 主材塗りは、次による。
 - (a) 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。
 - (b) ロール塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。
- (2) 外装薄塗材E及び可とう形外装薄塗材Eは、次による。
 - (ア) 材料の練混ぜは、(1)(ア)による。
 - (イ) 下塗りは、(1)(イ)による。
 - (ウ) 主材塗りは、次による。
 - (a) 吹付けの場合、(1)(ウ)(a)による。
 - (b) ロール塗りの場合、(1)(ウ)(b)による。
 - (c) こて塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のこてを用いて塗り付ける。

外装薄塗材E（砂壁状・吹付け）工法例

工 程		塗料その他			日本ペイント 商品名	所要量 (kg/㎡)	塗り 回数
		規格番号	規格名称	種類			
下地調整		15. 6. 5による。				—	—
1	下塗材	JIS A 6909	外装薄塗材E 下塗材	—	(1液・水系) ①水性透明シーラー 水道水 100%	0.1以上	1
2	主材	JIS A 6909	外装薄塗材E 主材	—	(1液・水系) ①リシン 水道水 5～8%	1.0以上	2

* JIS A 6909 外装薄塗材Eの規格では、上記以外に下記の商品も使用可能です。

(①マーク品の組合せが、JIS A 6909適合仕様となります。)

●下塗材（既存塗膜の状態や下地の種類等により使用できない場合があります。）

①水性ホワイトシーラー（1液・水系）

①水性カチオンシーラー（透明・ホワイト）（1液・水系）

①浸透性シーラー（新）（2液・溶剤系）

・ファイン浸透シーラー（透明・ホワイト）（2液・弱溶剤系）

外装薄塗材E（ゆず肌状、さざなみ状*・ローラー）工法例

工 程		塗料その他			日本ペイント 商品名	所要量 (kg/㎡)	塗り 回数
		規格番号	規格名称	種類			
下地調整		15.6.5による。				—	—
1	下塗材	JIS A 6909	外装薄塗材E 下塗材	—	(1液・水系) ①水性透明シーラー 水道水 100%	0.1以上	1
2	主材	JIS A 6909	外装薄塗材E 主材	—	(1液・水系) ①リシンR 水道水 0～3%	0.6以上	2

※当社の外装薄塗材Eローラー仕上げ用「リシンR」は砂壁状仕上げとなります。

* JIS A 6909 外装薄塗材Eの規格では、上記以外に下記の商品も使用可能です。

(①マーク品の組合せが、JIS A 6909適合仕様となります。)

●下塗材（既存塗膜の状態や下地の種類等により使用できない場合があります。）

①水性ホワイトシーラー（1液・水系）

①水性カチオンシーラー（透明・ホワイト）（1液・水系）

①浸透性シーラー（新）（2液・溶剤系）

・ファイン浸透シーラー（透明・ホワイト）（2液・弱溶剤系）

(3) 防水形外装薄塗材Eは、次による。

(ア) 材料の練混ぜは、(1)(ア)による。

(イ) 下塗りは、(1)(イ)による。

(ウ) 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等に、はけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付ける。

(エ) 主材塗りは、次による。

(a) 基層塗りは、だれ、ピンホール及び塗残しのないよう下地を覆うように均一に塗り付ける。